

日本アルジェリア協会第 15 回定例総会に関する通知

会員各位におかれましては、平素よりご協力をいただき御礼申し上げます。
当協会の第 15 回定例総会を下記の通り駐日アルジェリア大使公邸で開催いたしますので、
ご出席賜りますようご案内申し上げます。
本案内の資料として、第 1, 2 号議案と会計報告、予算案、大使公邸地図を添付します。
また、今後の協会行事についてアンケートを行いたく、総会出欠の回答とともに、返信を
いただければ幸いです。
なお、会員でない方のご同行はお控えください。

記

日時：2024 年 6 月 21 日(金) 18 時より (受付開始 17:45)
場所：駐日アルジェリア大使公邸
住所：東京都港区南麻布 4-6-15 (添付の地図をご参照ください)
議案：
第 1 号議案： 2023 年度活動報告と会計報告
第 2 号議案： 2024 年度活動方針と収支予算案
各議案の内容については添付資料にて御了知ください。

各会員におかれては、出欠の有無を以下の出欠票にて返信いただきたく、またご欠席の場合
は、書面議決書、または委任状のいずれかを選択・記入の上、6 月 18 日(火) までに当協会
宛に返信(info@japan-algeria-association.jp)いただくようお願いいたします。

また、併せて今後の協会行事についてアンケートを実施したく、出欠票に講演会の関心テー
マ、また講演会以外の催し物についてご希望があれば、それを記入いただければ幸いです。
アンケート結果については定例総会の際に発表の予定です。

なお、例年当該年度の会費は 5 月末までに納入をお願いしております。未納の会員は本年 5
月末までに納入願いたく、よろしくお願い致します。

2024 年 5 月 23 日 日本アルジェリア協会会長 小川和也

.....

【出欠票】 日本アルジェリア協会第 15 回定例総会 (6 月 21 日)

出席 ()、欠席 () いずれかに○を記入ください。

ご氏名：

【ご欠席の場合、A 書面議決書、B 委任状 のいずれかを選択してください。】

A 書面議決書（各議案につき、賛成または反対に○印を記入してください。）

第 1 号議案： 賛成（ ）、反対（ ）

第 2 号議案： 賛成（ ）、反対（ ）

ご氏名：

B 委任状

総会での議決権を代理人 _____ に委任します。

（代理人として当協会会員の氏名をご記入ください。特に代理人として指名する方がいらっしゃらない場合には、「会長小川和也」と記入ください。）

ご氏名：

【今後の協会行事についてのアンケート】

○講演会のテーマ（複数回答可）：

○講演会以外の催し物（複数回答可）：

.....

【添付資料】

第1号議案：2023年度活動報告

1. 2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）は、定例総会を6月16日に大使公邸において行いました。コロナ禍のため3年間続けて書面議決での総会となりましたが、2023年度は4年ぶりの対面での総会となりました。また、協会主催行事として以下の通り、オンライン講演会を2回、対面での講演会を1回行いました。

2023年4月25日 白戸圭一立命館大学教授による講演会（オンライン）「ポストコロナのアフリカを展望する」

2023年12月19日 末次圭介秀明大学専任講師による講演会（オンライン）「アルジェリア独立戦争とド・ゴールの役割」

2024年3月27日 松原康介筑波大学准教授による講演会 「アルジェリアの近代建築と都市計画」、「アルジェリア・ムザブの谷のオアシスにおける伝統的な水利システムの形成と変容」

2. 2023年度末の会員数は125で、個人会員数120名、法人・団体会員数5社です。2年間会費滞納で自動退会となった会員は4名であった一方で、新規会員は15名と、一昨年度の5名から大幅増になりました。更に2024年度は既に5名の新規会員が入会しています。財務状況については、新規入会者増もあり会費徴収はほぼ当初見込みとなり、損益は黒字（繰越金増額）となりました。会費未納者への督促を積極的に行った結果もあったと思います。

第2号議案：2024年度活動方針

1. 2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）はコロナ 禍の収束状況を勘案しながら、ブーラハベル駐日アルジェリア大使（当協会名誉会長）のご意見も踏まえつつ、基本的に大使館乃至大使公邸での行事開催による会員間の交流促進を図ります。今年度の定例総会も昨年度に引き続き大使公邸にて行うこととなりました。

協会主催行事については、コロナ禍以前のように年4回程度の講演会等の行事を大使館で行いたいと考えています。それが難しい場合や遠隔地からの講演の場合にはオンラインによる開催を検討します。2024年度は4月15日に栗田伸子東京学芸大学名誉教授による講演会を行いました。

2. 協会の事務体制の整備と財務状況の改善は引き続き検討課題です。特に昨年度は会計担当の渡部秀文理事が亡くなられ、新たに榎本浩樹理事に会計業務の担当をお願いしています。なお、今年度から講師への謝礼を1万円から2万円に増額しました。